

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 施工に使用する接着剤は必ず指定の接着剤を使用して取付けてください。
木工用ボンドや両面テープでの取付けは、リフォーム階段の脱落の原因となります。
- 既存階段表面の油分や塗膜を取除き、指定の接着剤を部材裏全面に塗布してください。接着不良は部材のはがれ・脱落の原因となります。
- かくし釘の頭が、部材より出っ張らないように打込んでください。頭が出っ張っていると引っ掛かり、ケガの原因となります。
- 段鼻材の取付けに際して、既存階段踏板及び下地材とすき間のないように取付けてください。すき間があると、接着不良・釘抜け・部材割れで段鼻材が外れ、ケガの原因となります。
- 段鼻材と踏板面材、床に段差がないことを確認して取付けてください。段差があるとつまずき、ケガの原因となります。
- 階段裏を使用している場合は、かくし釘、ねじ先端が出ていないように処理してください。とび出した部分に引っ掛かり、ケガの原因となります。

■取付け上のお願い

- 本品を側板納めで使用する場合、1段ごと側板に継ぎ手が発生します。トラブル防止のため、あらかじめお施主さまに了承を得てからご使用ください。
- 取付けには必ず指定の接着剤(LZZZZ009)を使用してください。又、接着剤に記載してある使用方法・注意事項を守ってください。
塗布量は200g/m²(接着面全面塗布)を目安にしてください。(ノズル口径5.5mmにて1m棒状に塗布すると約30gになります。)
- 既存階段の表面をサンダー・カンナなどで削り、油分や塗膜を取り除き、不陸を押さえ平滑にしてから取付けてください。
又、上段框用段鼻材に隣りあうリフォーム床は、同じ高さになるよう施工してください。
- 既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがあります。一段一段寸法を測って、切断してください。
- はみ出した接着剤は、すぐに拭きとってください。
- かくし釘を打込む際には、木ねじの個所と重ならないように注意してください。
- 踏板面材と蹴込み板面材を、とりちがえて張付けしないでください。
- 部品一覧表を参照し、施工前に必ず部材をご確認ください。不足・破損があった場合は、施工する前に弊社営業所までご連絡ください。
- 保管は屋内の水気や湿気の少ない場所に必ず平置きしてください。
- 開梱後はすみやかに施工し、直射日光の当たる場所や、湿気の多い場所に放置することは避けてください。ソリやねじれなど、変形の原因となります。
- 製品は、一般住宅の屋内用階段部材です。屋内でも浴室など、たえず湿気にさらされたり、水がかかったりするところではご使用になれません。(土足不可)
- 接着剤が完全硬化するのに夏期で3時間以上、冬期で24時間以上かかりますので、施工当日は衝撃をあたえないように昇降してください。

■取付け前の事前確認

●本品は、既存階段の外観をリフォームする化粧材です。階段の仕様によってはリフォームできない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

■既存階段の仕様確認表

リフォームの可否	階段の形	踏板的種類、形状	踏板的厚み	踏板的サイズ	側の納め方	その他(上階床のリフォーム)
リフォーム可 	箱型階段 (側板内法寸法900mm以内)	木質で平滑なもの ジュタン(木下地)	30mm~36mm	長さ900mm以内 幅257mm以内 (踏面+鼻の出30)	側板納め (見え掛り厚さ24mm以内) 幅木納め※	上階床高さ12mmアップ
リフォーム不可 	オープン階段 カーブ階段	除去できないノンスリップなど、 極端な凹凸があるもの ジュタン(木下地以外)	37mm以上	上記より大きいもの 鼻の出30以外		上階床をリフォームしない 上階床高さ12mmアップ以外

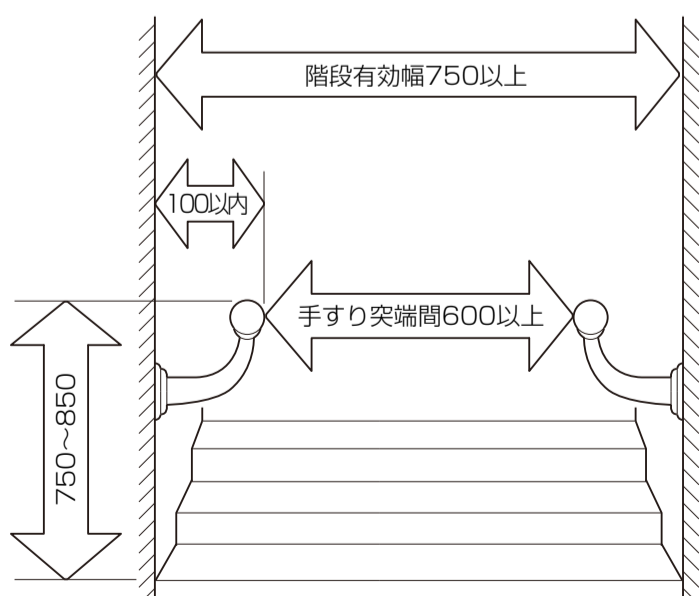
※幅木納めを側板納めにリフォームすることはできません。

●取付け前に必ず既存階段の状態を確認し、不具合(踏み鳴り、強度不足など)がある場合はあらかじめ補修してください。

■取付け上の留意事項

●建築基準法にもとづき、下図の寸法を必ず確保してください。

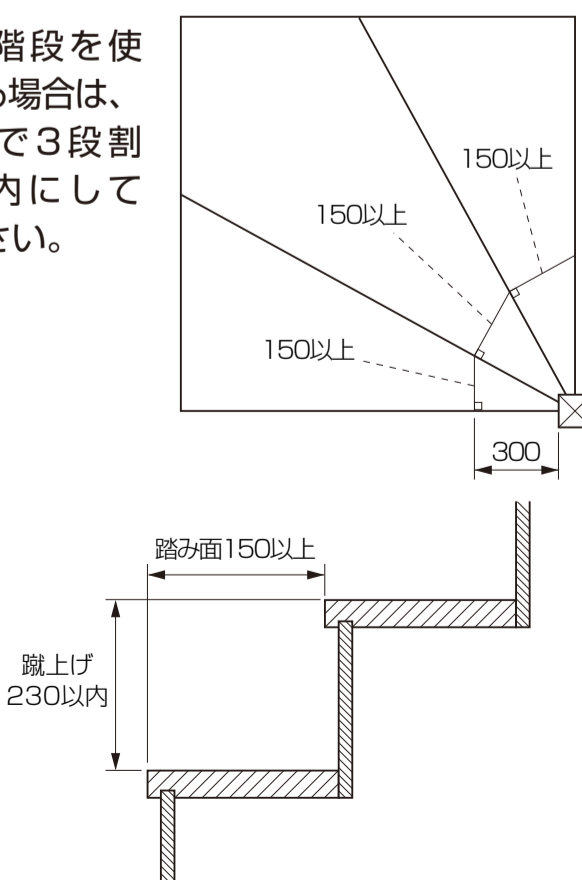
階段有効幅寸法 (単位mm)



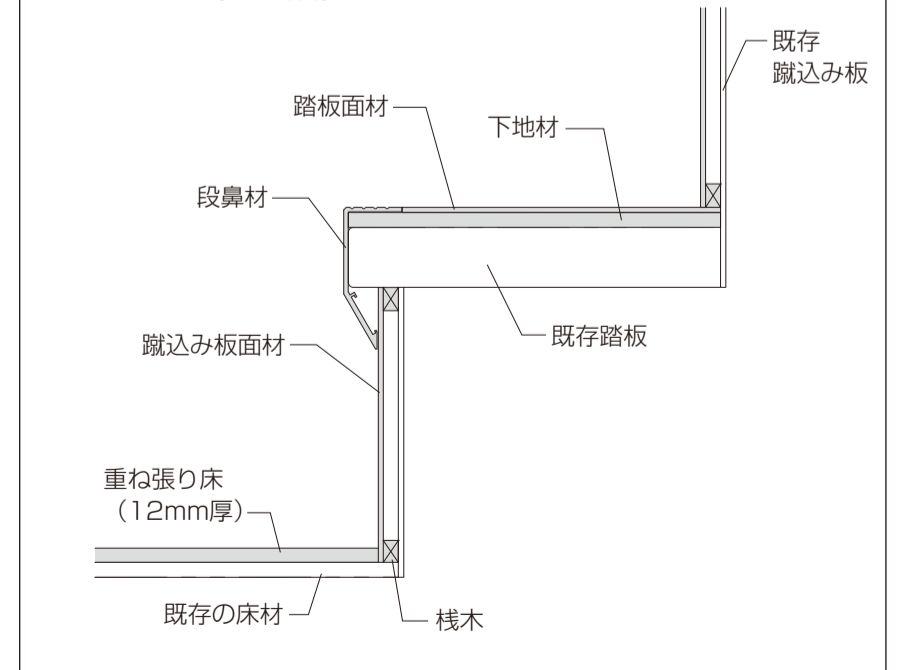
●階段有効幅は建築基準法にもとづき、750mm以上確保してください。なお、上図のように手すりを片側に取付ける場合は、手すりの突出する部分が、壁面仕上げ面から100mm以内であれば、階段有効幅の750mmに算入することができます。手すりを両端へ取付ける場合は、手すりの突端間が600mm以上あることが必要です。

踏み面、蹴上げ寸法 (単位mm)

●廻り階段を使われる場合は、90°で3段割り以内にしてください。

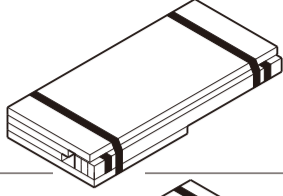
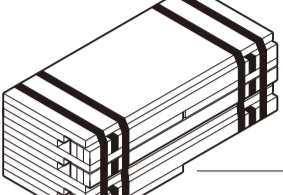
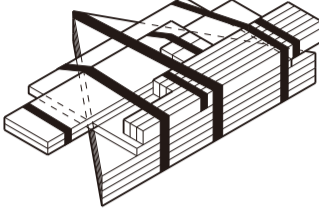
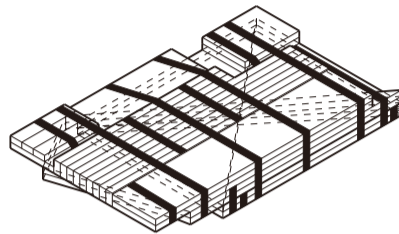
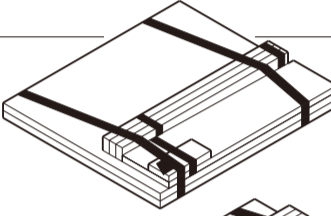
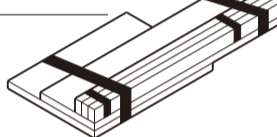



リフォーム後の階段断面図

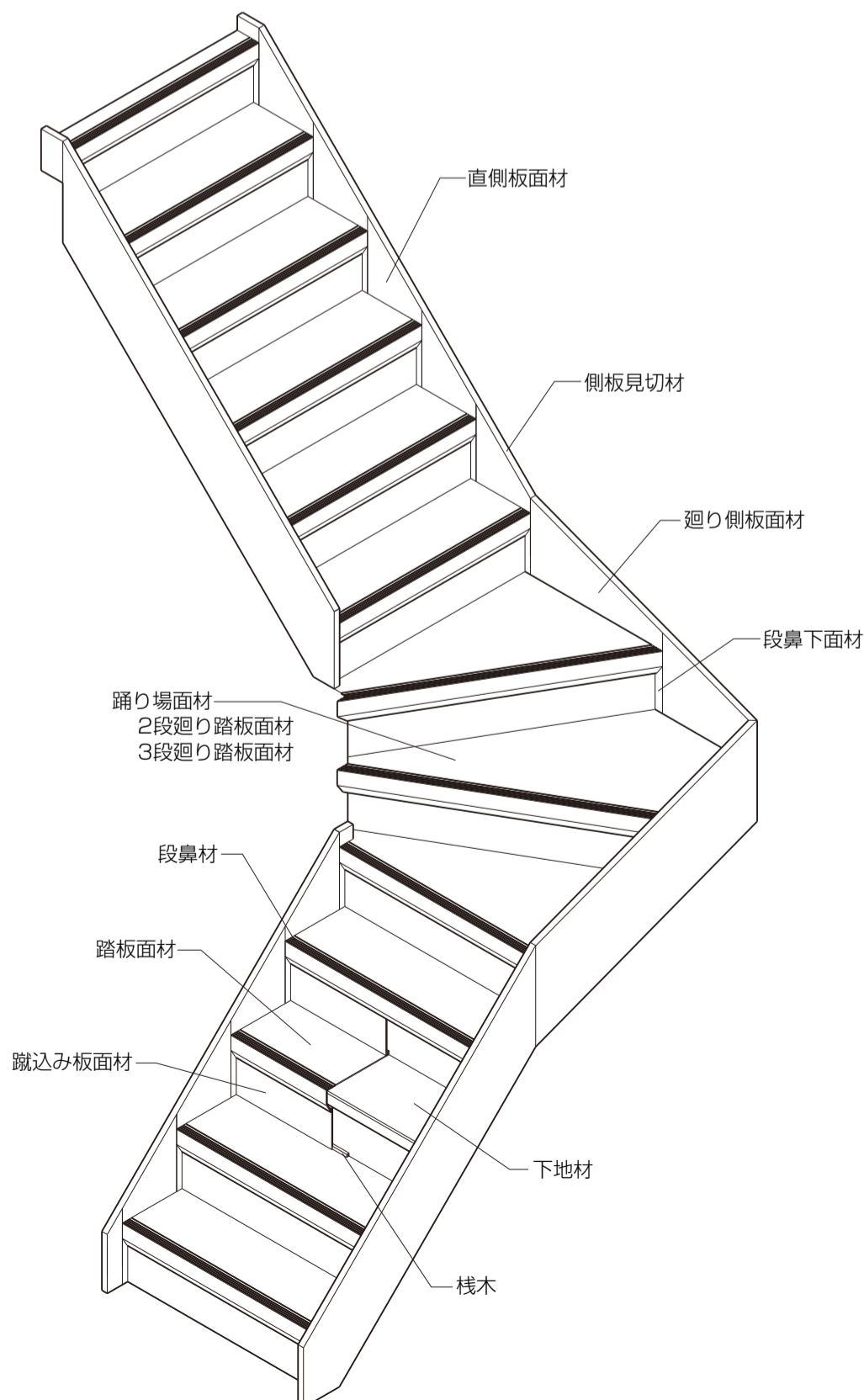


●既存の床の上に12mm厚の新しい床材を重ね張りします。階段1段目の蹴込み板には、突き付け納めします。

■セット内訳

直踏板セット (1入り)	踏板面材 下地材 蹴込み板面材 側板面材 棧木	226×900×t3×1枚 257×900×t9×1枚 195×900×t3×1枚 265×670×t3×1枚 12×900×t9×3本	
直踏板セット (3入り)	踏板面材 下地材 蹴込み板面材 側板面材 棧木	226×900×t3×3枚 257×900×t9×3枚 195×900×t3×3枚 265×670×t3×3枚 12×900×t9×9本	
2段廻り踏板セット	踏板面材 下地材 蹴込み板面材 蹴込み板面材 廻り側板面材 棧木 棧木 段鼻下面材	1000×1000×t3×2枚(1セット) 1000×1000×t9×2枚(1セット) 195×900×t3×1枚 195×1350×t3×1枚 830×390×t3×1枚 12×900×t9×3本 12×1350×t9×3本 28×390×t3×2枚	
3段廻り踏板セット	踏板面材 下地材 蹴込み板面材 蹴込み板面材 廻り側板面材 廻り側板面材 棧木 棧木 段鼻下面材	1000×1000×t3×3枚(1セット) 1000×1000×t9×3枚(1セット) 195×900×t3×1枚 195×1200×t3×2枚 350×390×t3×1枚 480×390×t3×1枚 12×900×t9×3本 12×1350×t9×6本 28×390×t3×3枚	
踊り場踏板セット	踏板面材 下地材 蹴込み板面材 棧木 段鼻下面材	1000×1000×t3×1枚 1000×1000×t9×1枚 195×900×t3×1枚 12×900×t9×3本 28×390×t3×1枚	
1段目(上段框)用 側板セット	蹴込み板面材 側板面材 棧木	195×900×t3×1枚 265×670×t3×1枚 12×900×t9×3本	
段鼻材	直踏板、踊り場用(1)	段鼻材 35×85.5×900×1本	
	直踏板、踊り場用(3)	段鼻材 35×85.5×900×3本	
	2段廻り踏板用	段鼻材 35×85.5×1350×1本	
	3段廻り踏板用	段鼻材 35×85.5×1200×2本	
	上段框用	段鼻材 35×85.5×900×1本 下地材 32×900×t9×1枚	
側板見切材	見切材 ポリネートチューブ	38×10000×t0.5×1本 150g	
不陸解消テープ		22×200×t1	
リフォーム階段・框用専用接着剤		330ml(511g)	

■各部材の名前

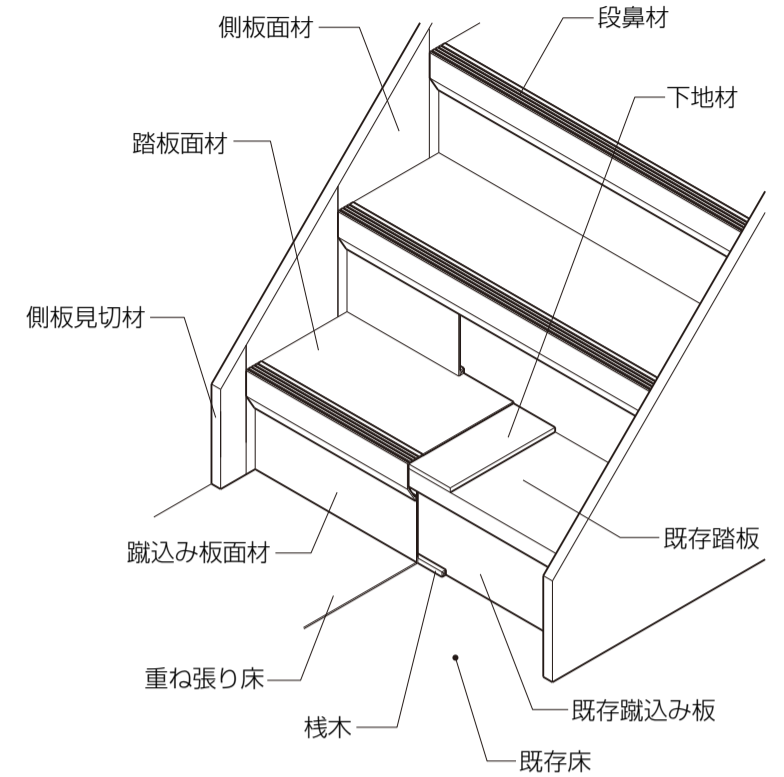


■施工概略図

●本リフォーム階段は、上階と下階に12mm床を重ね張りすることを前提としています。

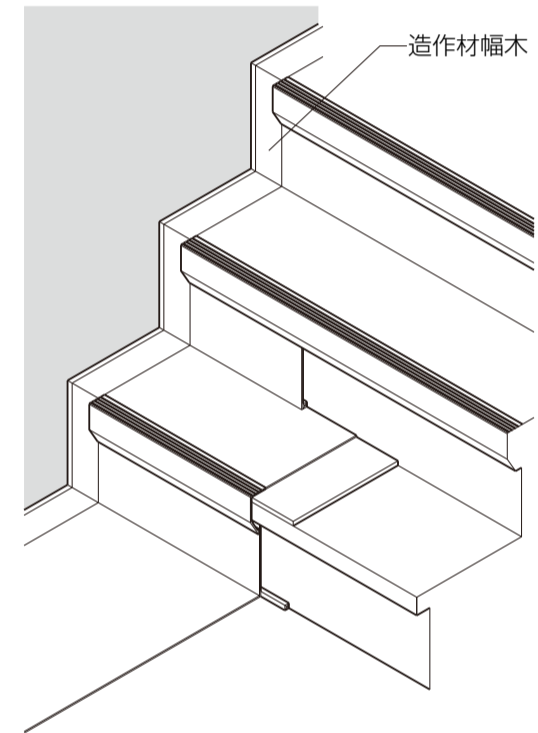
1 側板納まりの例

●小さなすき間は充てん剤を充てんします。



2 幅木納まりの例

●踏板、蹴込み板と壁のすき間を幅木で隠します。



●現場調達材

- ・かくし釘(36mm)
- ・木ねじ(M4×30程度)
- ・釘(φ1.7程度)
- ・接着剤塗布用板(木片)

●必要部材・部品

- ・リフォーム階段セット・・・階段形状によって選んでください
- ・その他
- 階段セットに入っていないもの
- ・パッチャルペンシル・・・階段の色よりお選びください(かくし釘の後処理用)
- ・充てん剤・・・階段の色よりお選びください(すき間の充てん用)
- ・養生シート・・・完成までの養生用
- ・養生テープ・・・養生シートの固定用

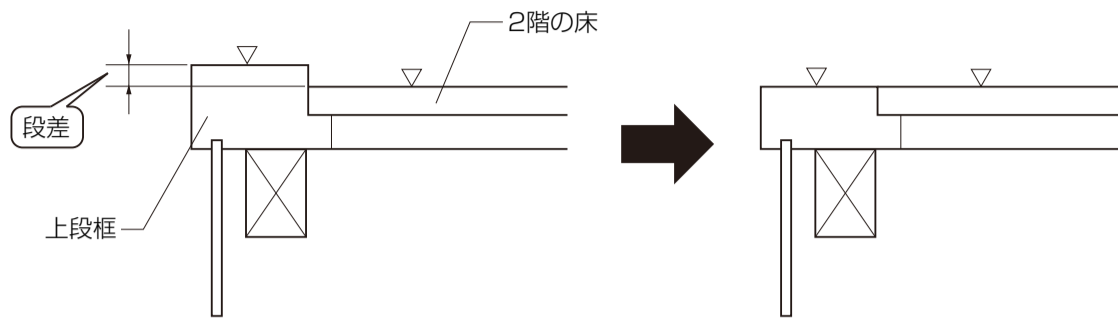
●施工中に面材・段鼻材にキズがついた時は

- ・ブレインスティックセット・・・深いキズ用
- ・タッチアップマーカー・・・すりキズ、細かいキズ用
- ・3Nマーカー・・・切れた木目用

■取付け手順

1 既存階段の下地処理

- ①幅木、カーペットなどを取外します。
- ②既存階段の表面をサンダー、カンナなどで削り、油分や塗膜を取除き、不陸を押さえ平滑にします。
- ③2階の床と上段框に段差がある場合には、サンダー、カンナなどで削り、段差をなくしてください。

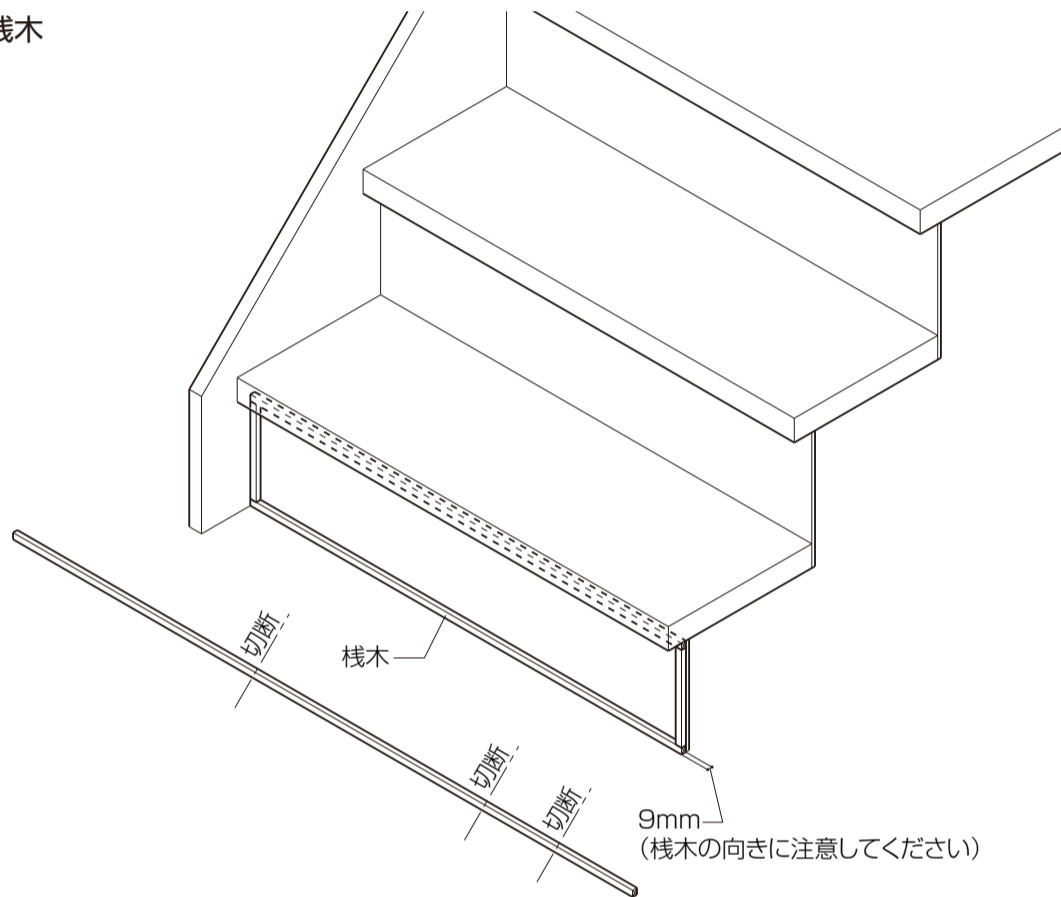


2 栈木、蹴込み板面材、段鼻材、下地材、踏板面材の切断

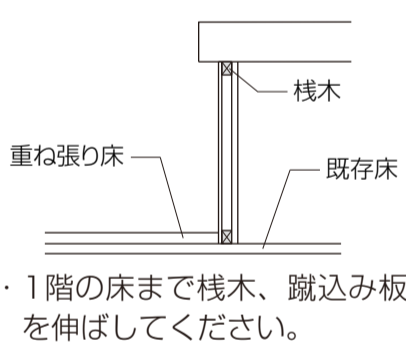
- ①栈木、蹴込み板面材、段鼻材、下地材、踏板面材を既存階段の側板又は、壁(側板がない場合)の内々寸法、蹴上げ寸法に合わせて切断してください。
- ※既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段寸法を測って切断してください。

●切断加工のポイント
●蹴込み板面材・踏板面材を切断される場合はササクレ・バリを防ぐためにもケビキを必ずおこなってください。

●栈木

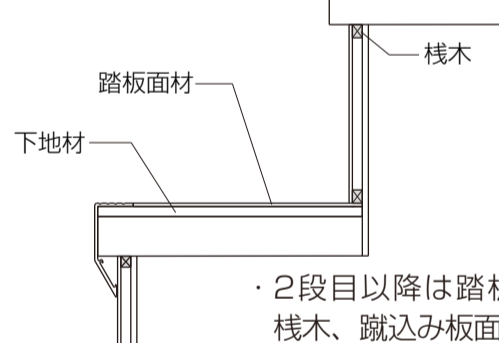


●1段目、1階床との納まり



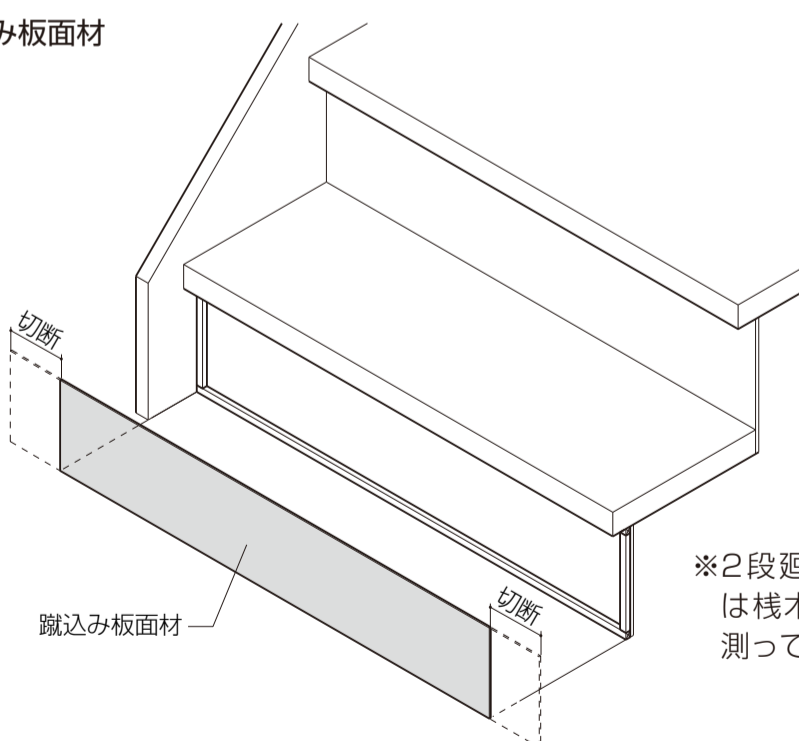
- ・1階の床まで栈木、蹴込み板面材を伸ばしてください。

●2段目以降の納まり



- ・2段目以降は踏板面材の上に栈木、蹴込み板面材がきます。

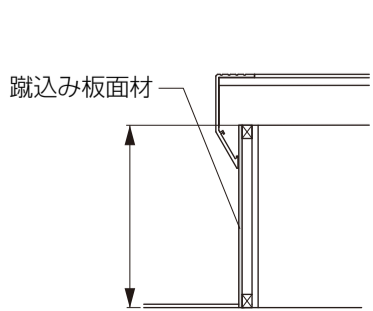
●蹴込み板面材



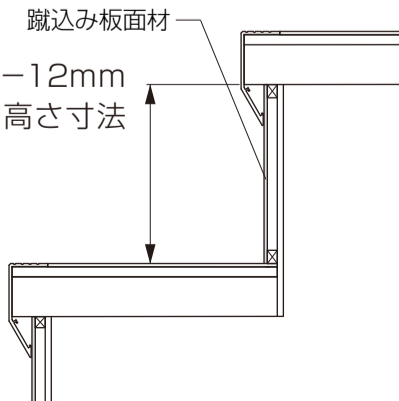
- ※2段廻り、3段廻りについては栈木を取付けた後、寸法を測って切断してください。

- ・段鼻材がかぶりますので、蹴込み板面材上部に切断面をもってください。
- ・1~2mm小さく切断されると作業がしやすくなります。

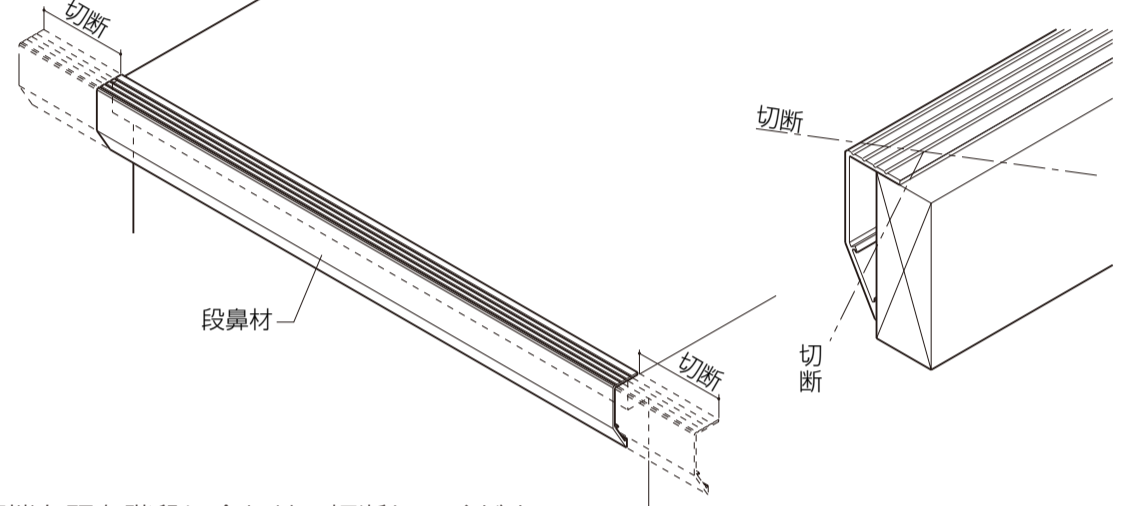
●1段目 床より踏板の下までの寸法



●2段目以降 既存踏板下までの寸法-12mm (踏板面材、下地材)の高さ寸法 になります。

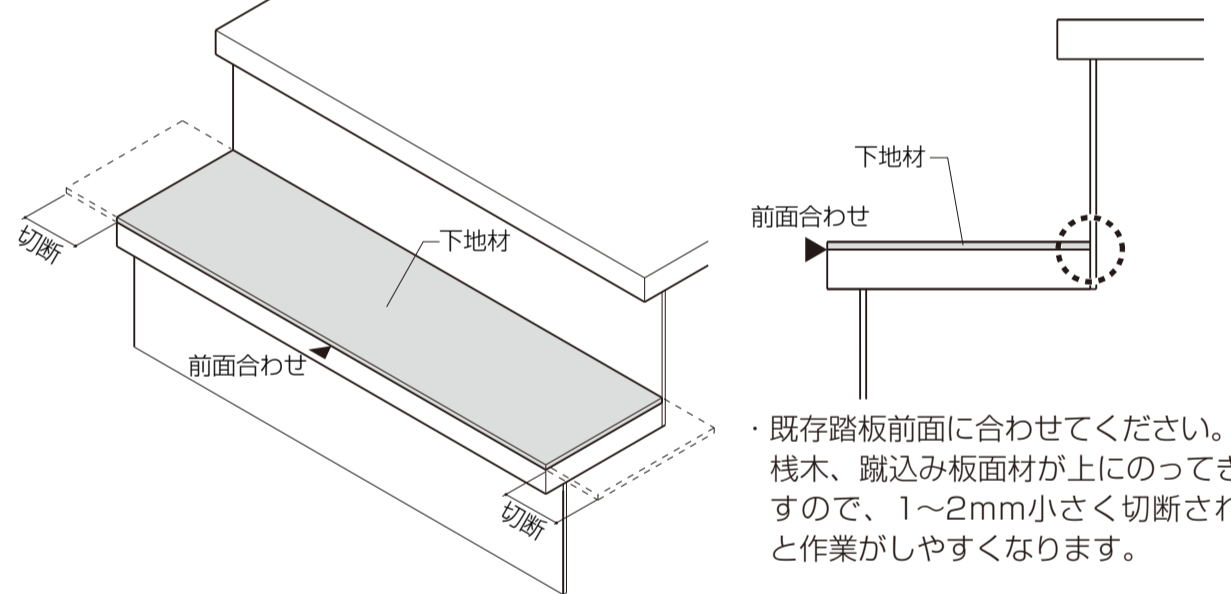


●段鼻材



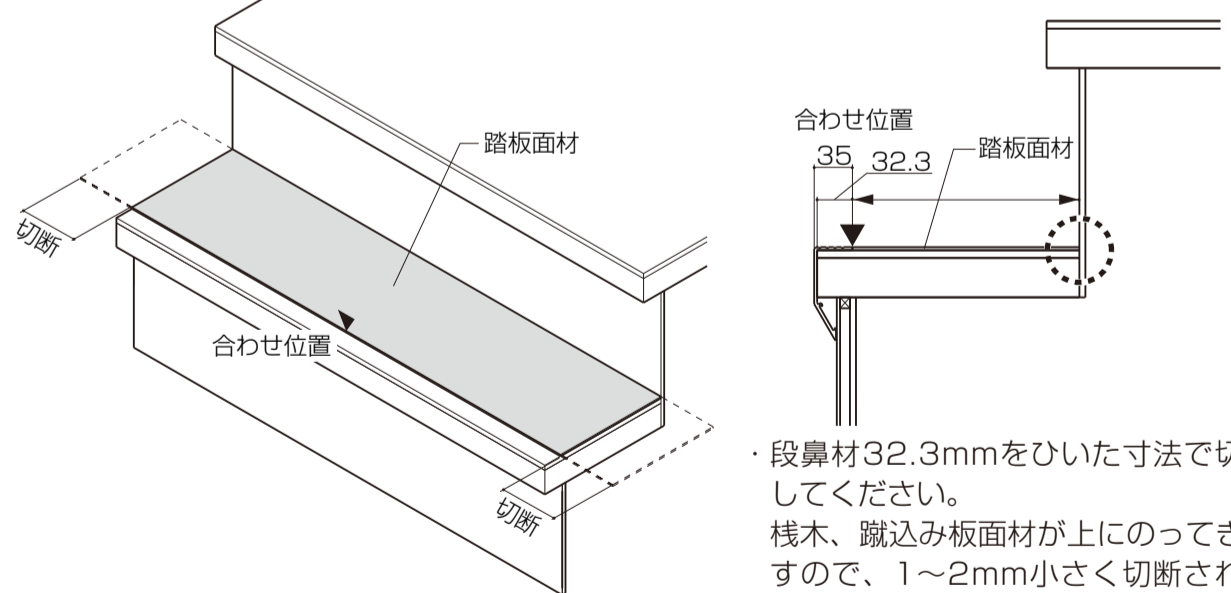
- ・両端を既存階段に合わせて切断してください。
- ・角度がついた切断、廻り階段中心納まりについては、木片に合わせて切断してください。

●下地材



- ・両端を既存階段に合わせて切断してください。

●踏板面材

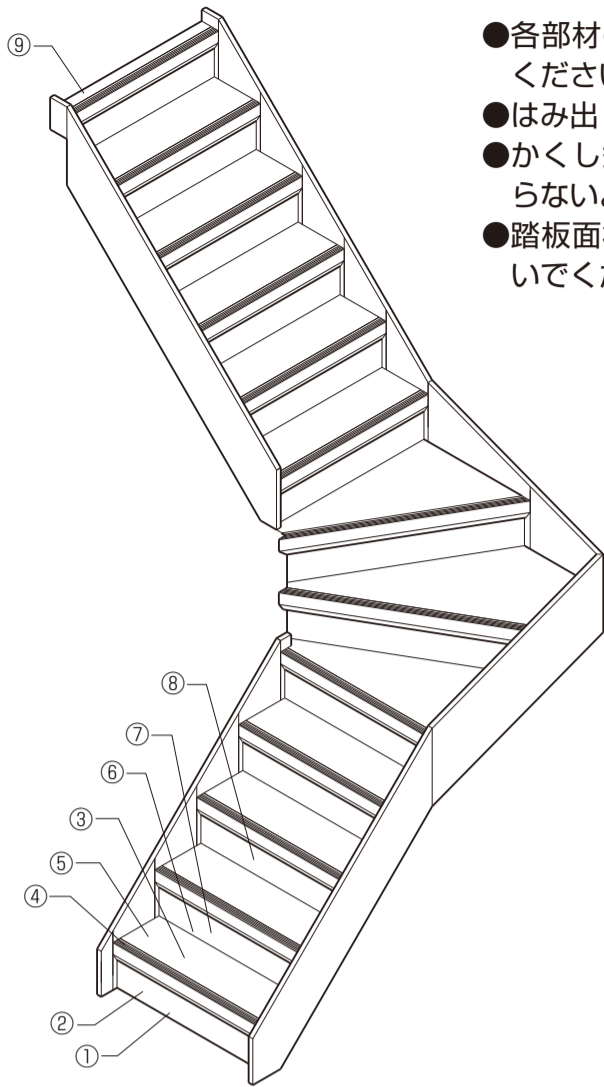


- ・両端を既存階段に合わせて切断してください。

- ・既存踏板前面に合わせてください。栈木、蹴込み板面材が上に来ますので、1~2mm小さく切断されると作業がしやすくなります。

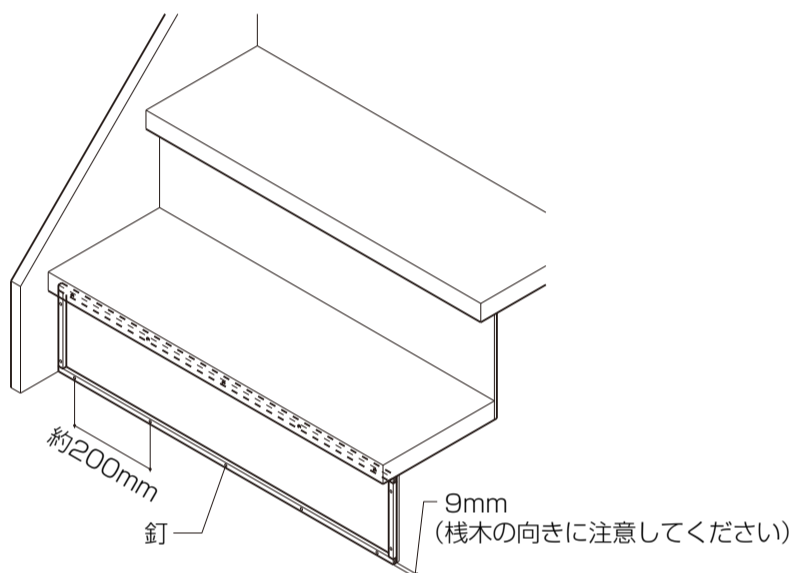
- ・段鼻材32.3mmをひいた寸法で切断してください。栈木、蹴込み板面材が上に来ますので、1~2mm小さく切断されると作業がしやすくなります。

③ 棧木、蹴込み板面材、段鼻材、下地材、踏板面材の張付け

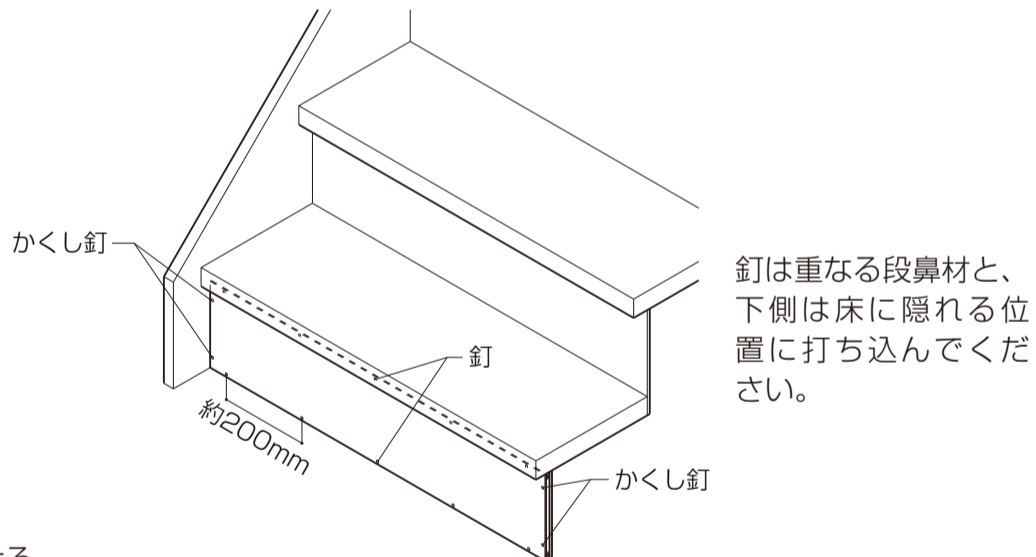


- 各部材の固定には、必ず指定の接着剤を使用してください。
- はみ出した接着剤はすぐに拭きとってください。
- かくし釘を打ち込む際には、木ねじの個所と重ならないように注意してください。
- 踏板面材と蹴込み板面材をとりちがえて張付けないでください。

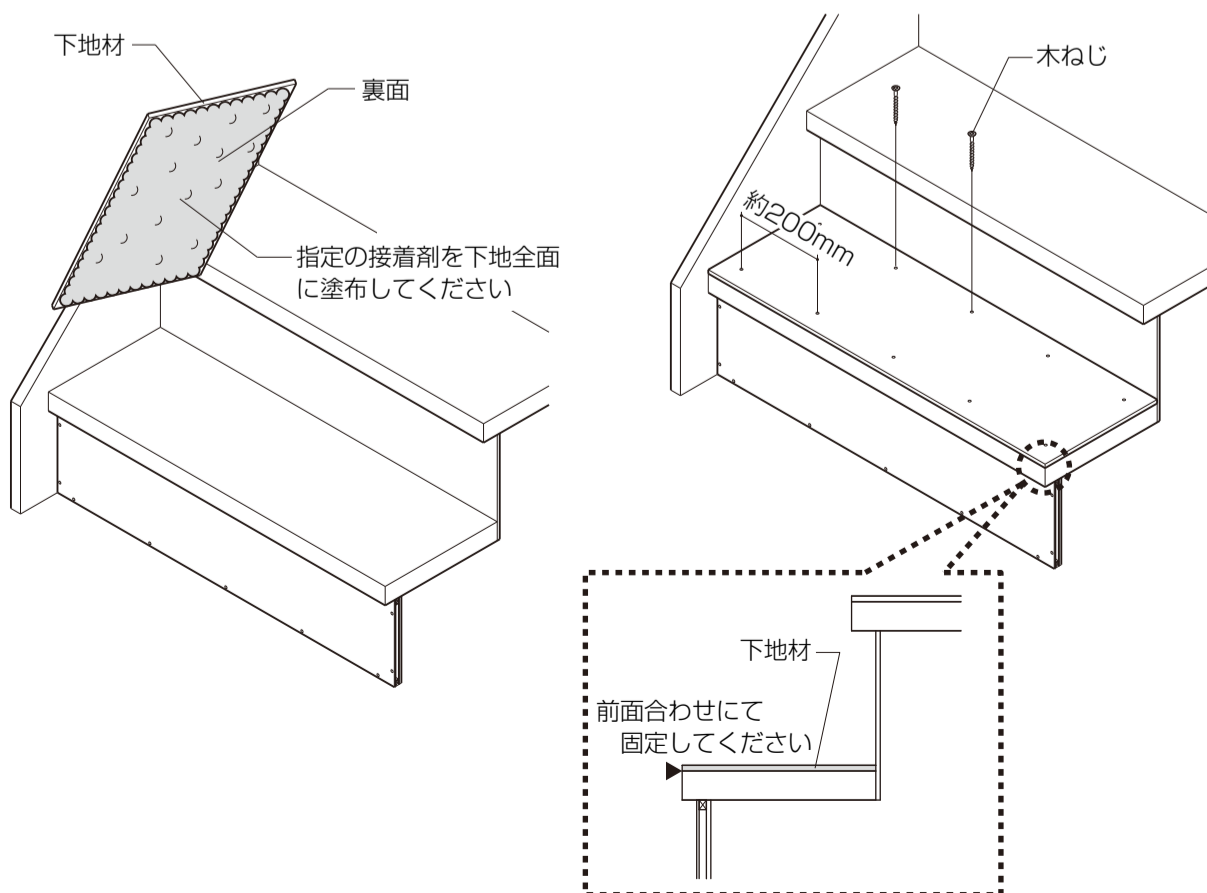
① 棧木を取付ける。(1段目)
 ・指定の接着剤と釘(φ1.7程度：現場手配)で200mmピッチで固定してください。



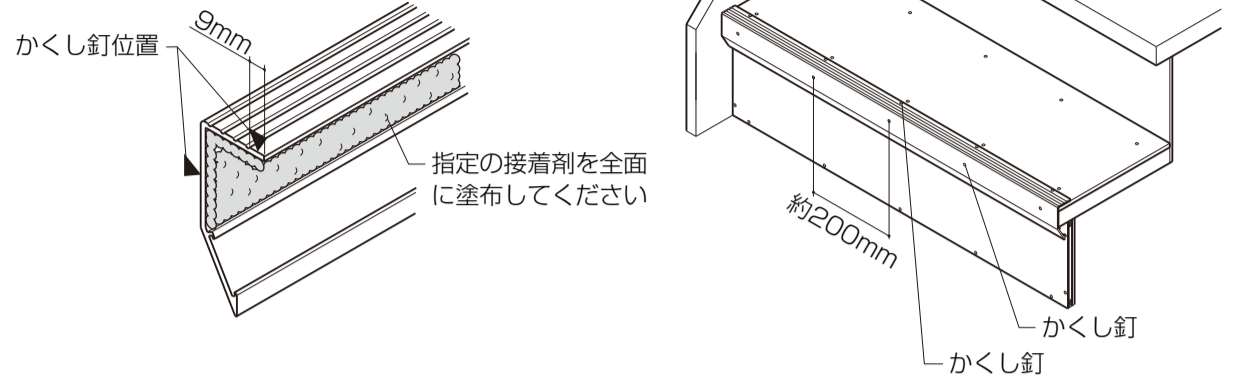
② 蹴込み板面材を取付ける。(1段目)
 ・蹴込み板面材の棧木にあたる所に指定の接着剤をつけて、釘(φ1.7程度：現場手配)で200mmピッチで固定してください。次に、かくし釘(36mm：現場手配)で左右4箇所(下図参照)を固定してください。



③ 下地材を取付ける。
 ・既存階段の踏板前面に合わせて指定の接着剤をつけ、木ねじ(φ4×30程度：現場手配)で200mmピッチで固定してください。
 ・段鼻材、踏板面材を上から張付けますので、木ねじ頭が出っ張らないようにしてください。

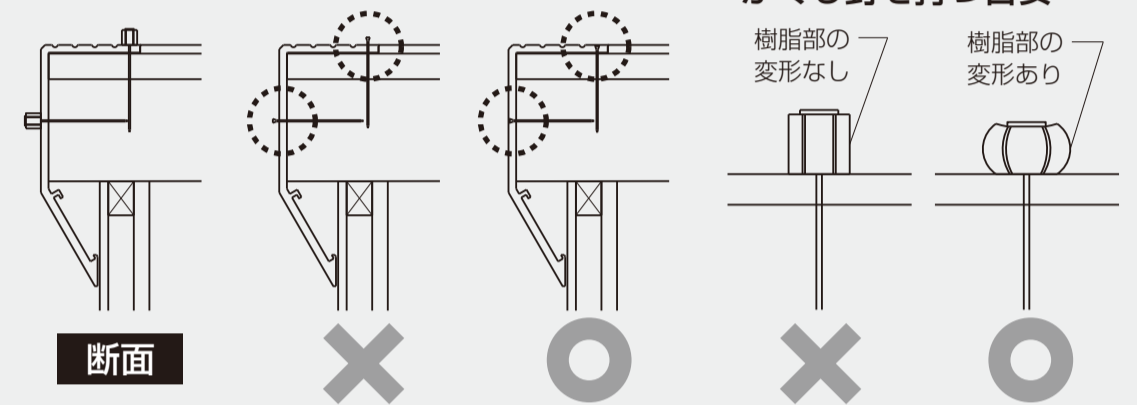


④ 段鼻材を取付ける。
 ・下地材(既存階段踏板前面)に合わせて、段鼻材裏面に指定の接着剤を塗布して、かくし釘(36mm：現場手配)を200mmピッチで固定してください。
 ※既存階段踏板と、下地材の前面が合っていることを確認してください。
 ※接着剤は、指定の接着剤を塗布してください。

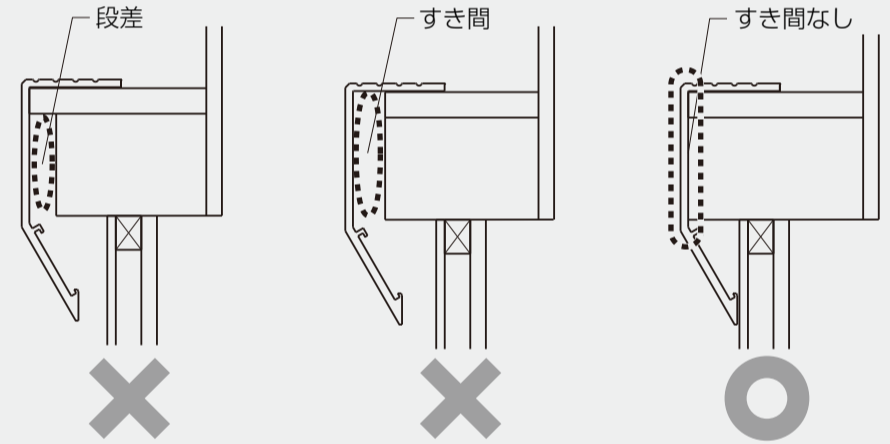


▲ 注意

● かくし釘を打つにあたって
 ・かくし釘の頭が出っ張っていると、ひっかかり、ケガのおそれがあります。

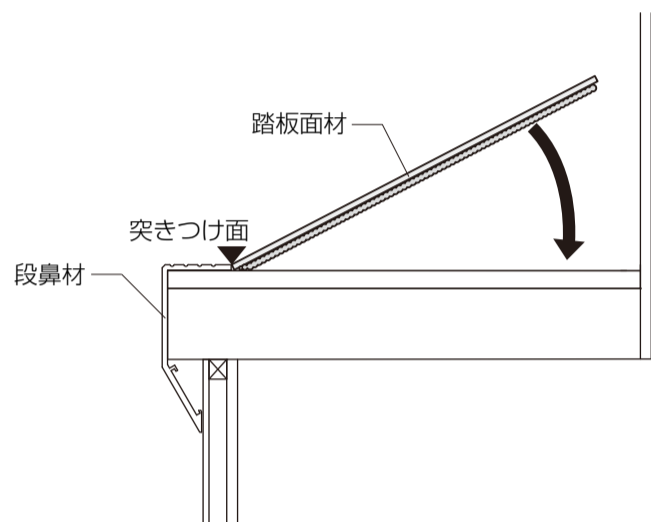
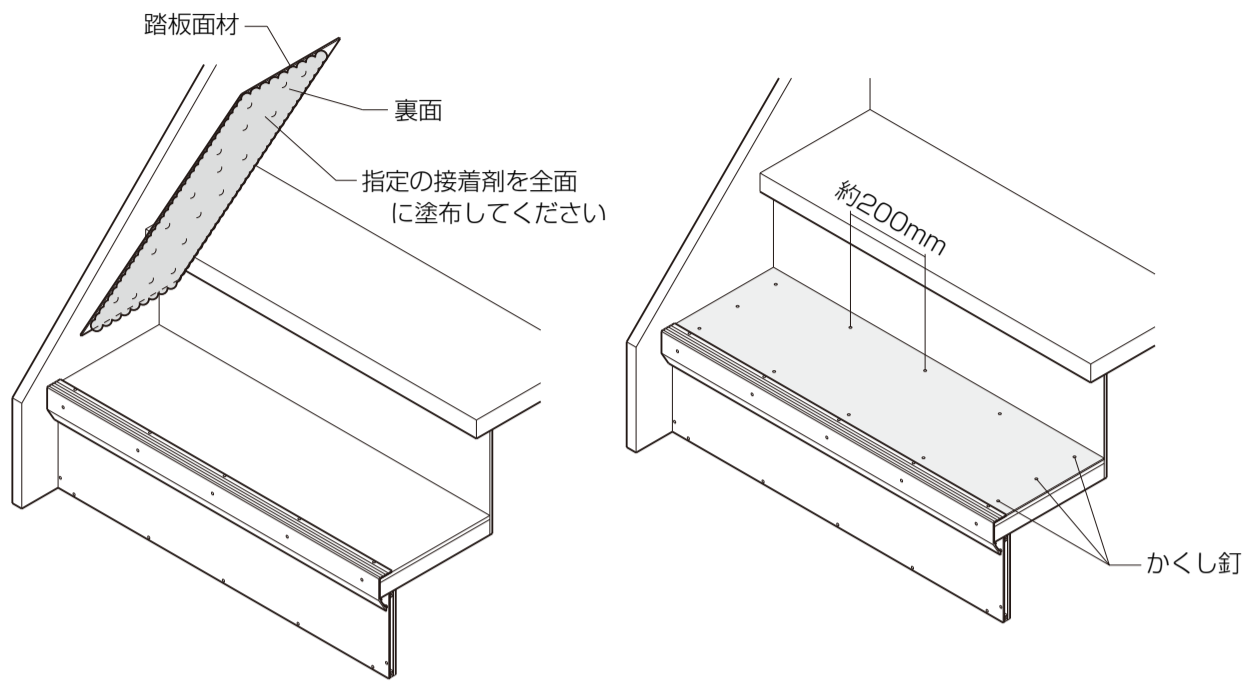


● 段鼻材取付けにあたって
 ・取付けに際して、既存階段踏板及び下地材とすき間のないように取付けてください。すき間があると、接着不良・釘抜け・部材割れで段鼻材が外れ、ケガの原因となります。



⑤ 踏板面材を取付ける。

- ・ 段鼻材に合わせて踏板面材裏面に、指定の接着剤をつけて、かくし釘 (36mm : 現場手配) を200mmピッチで固定してください。
- ・ 段鼻材と踏板面材に段差がある場合は、施工中の木片の付着、段鼻材、踏板面材の圧定不足、下地材固定のねじ頭の締め込み不足など考えられます。原因をつきとめ、段差をなくしてください。

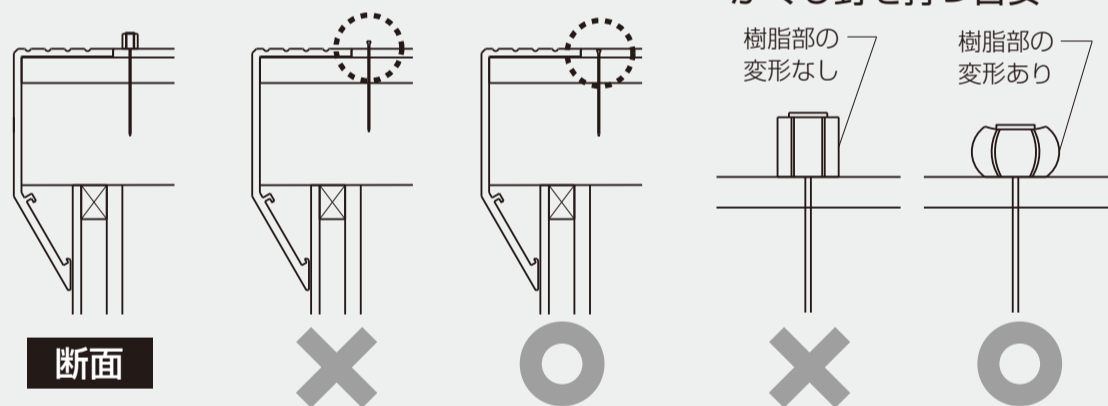


栈木、蹴込み板面材がのってきますので、段鼻材側突きつけて、固定してください。

▲ 注意

● かくし釘を打つにあたって

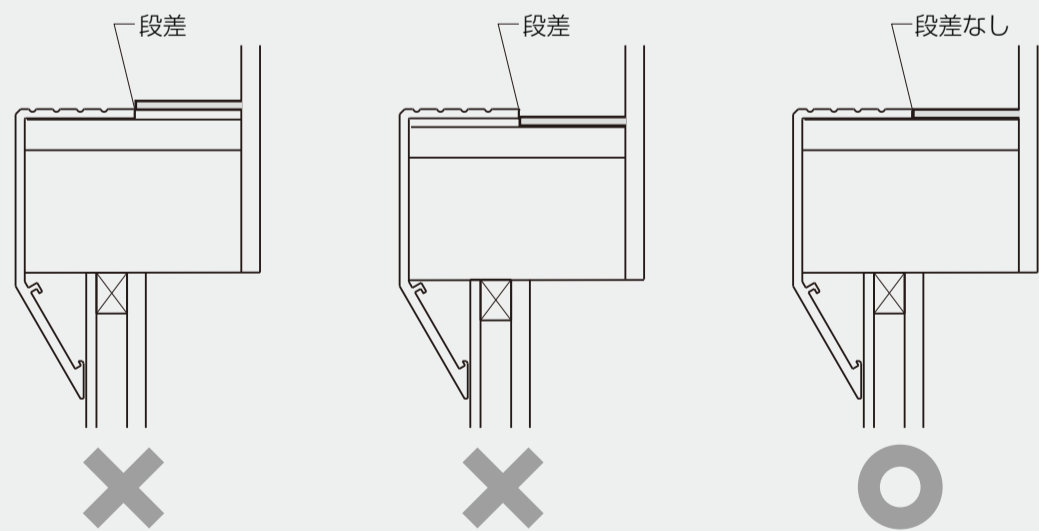
- ・ かくし釘の頭が出っ張っていると、ひっかかり、ケガのおそれがあります。



断面

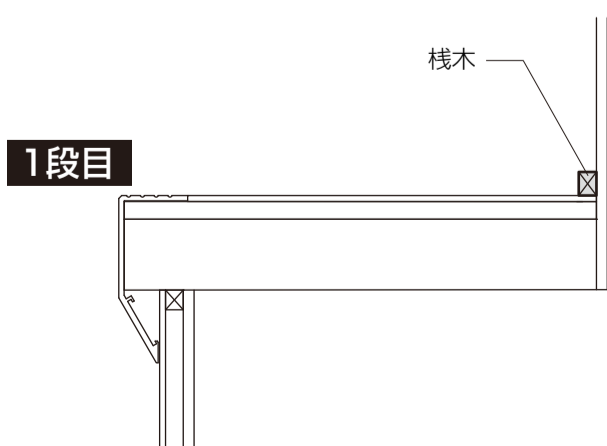
● 段差について

- ・ 段鼻材と踏板面材に段差がないことを確認して、取付けてください。段差があると、つまずき・ケガの原因となります。

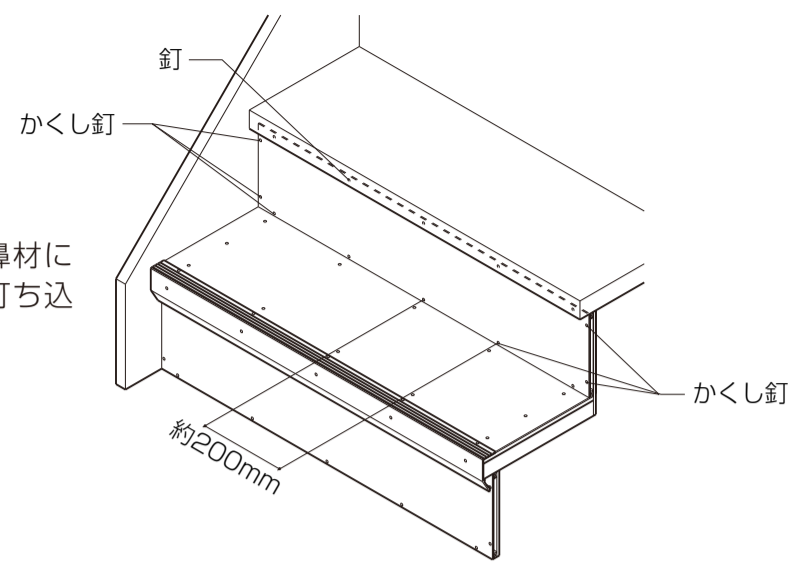


⑥ 栈木を取付ける。(2段目以降)

踏板面材上より栈木を取付けてください。(①と同じ)



⑦ 蹴込み板面材を取付ける。(2段目以降)

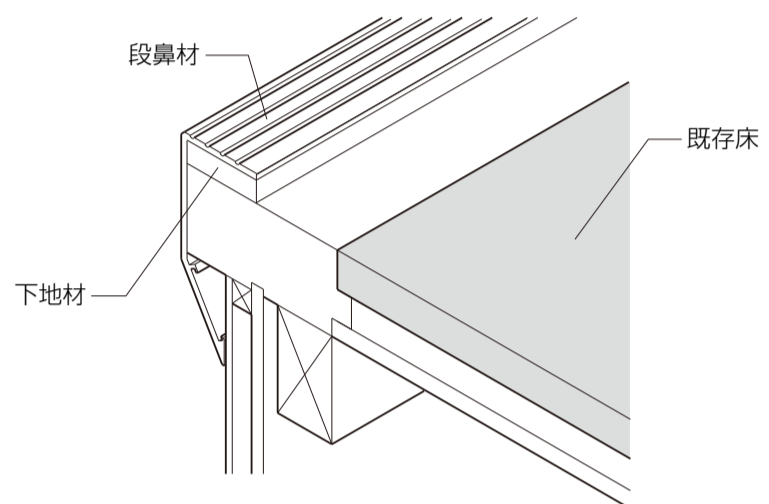


釘は重なる段鼻材に隠れる位置に打ち込んでください。

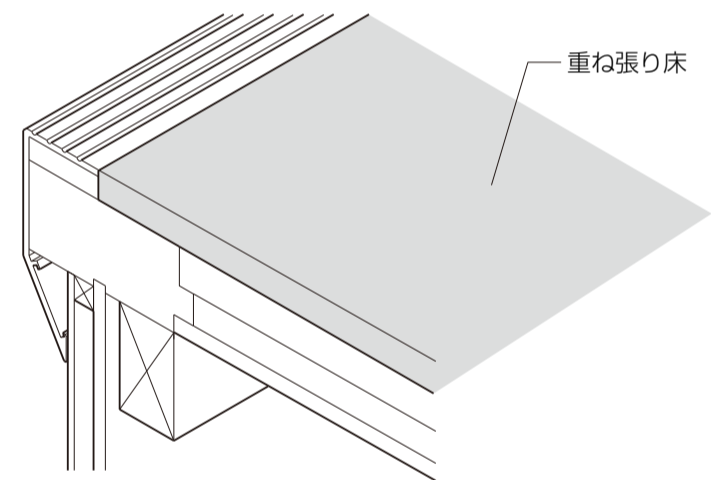
- ・ 栈木上より、蹴込み板面材を取付けてください。(②と同じ、一部かくし釘)
- ⑧ 2段目以降を⑥、⑦、③～⑤の手順で上段へ張り上げます。

⑨ 上段框 (最上段) の納まりについて。

- ・ 上段框用段鼻材使用の場合
- ③ 下地材を取付ける。④ 段鼻材を取付ける。



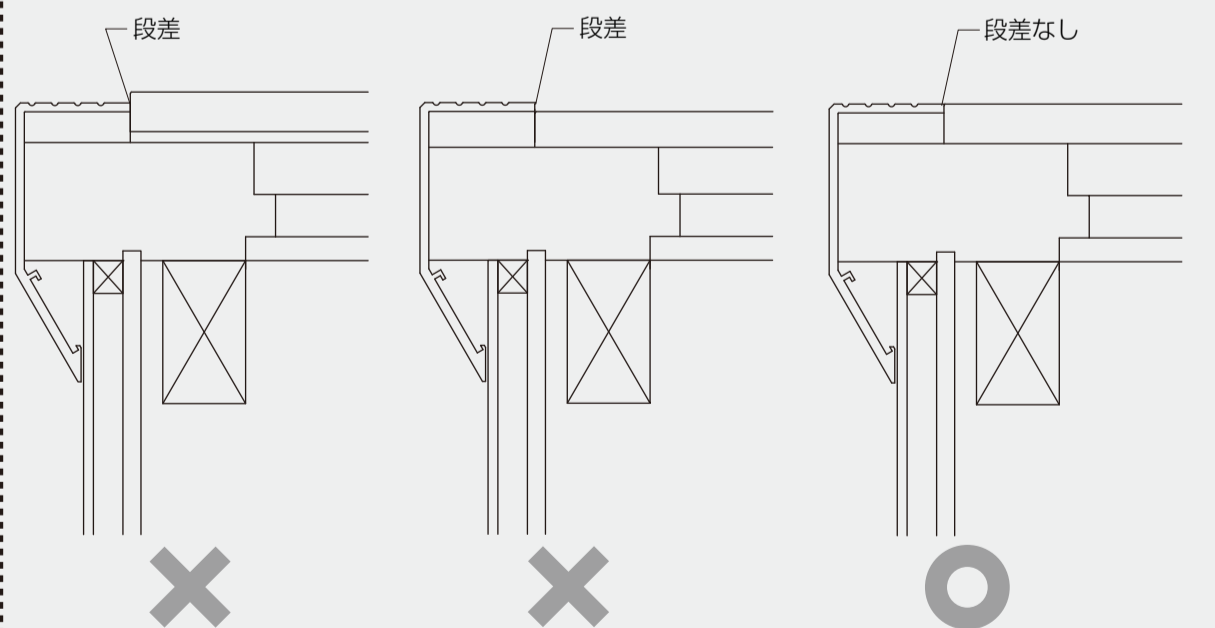
- ・ 階段部分が全て張り上げれば、上・下階の床(12mm)の重ね張りをします。
- ・ 段鼻材と床に段差がある場合は、施工中の木片の付着、段鼻材、踏板面材の圧定不足、下地材固定のねじ頭の締め込み不足、既存上段框と既存床の段差解消不足など考えられます。原因をつきとめ、段差をなくしてください。



▲ 注意

● 段差について

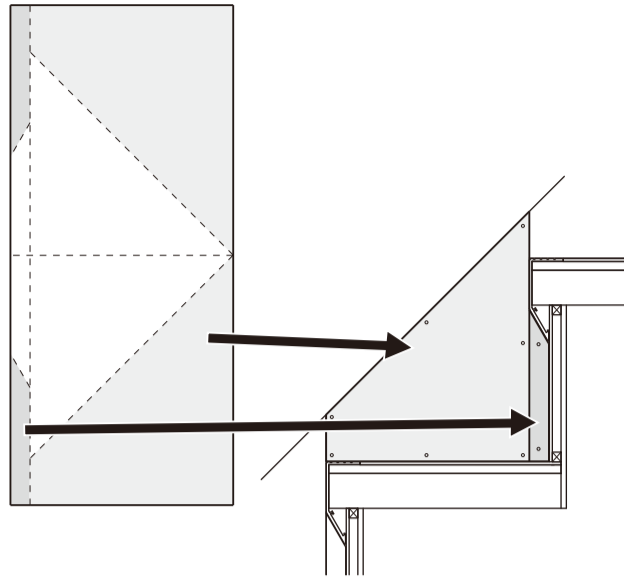
- ・ 段鼻材と床に段差がないことを確認して、取付けてください。段差があると、つまずき・ケガの原因となります。



4 側板の張付け(側板納まりの場合)

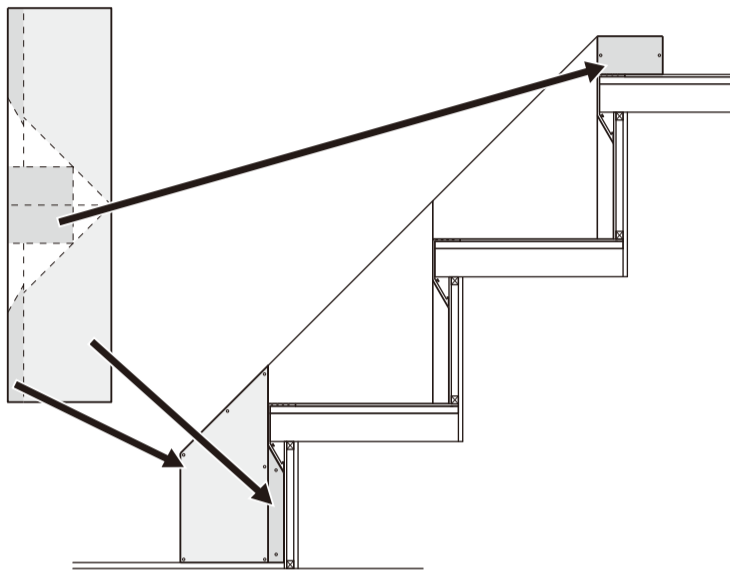
●直側板の場合

- ・側板面材を既存側板に合わせてカットします。



●1段目側板、上段框側板の場合

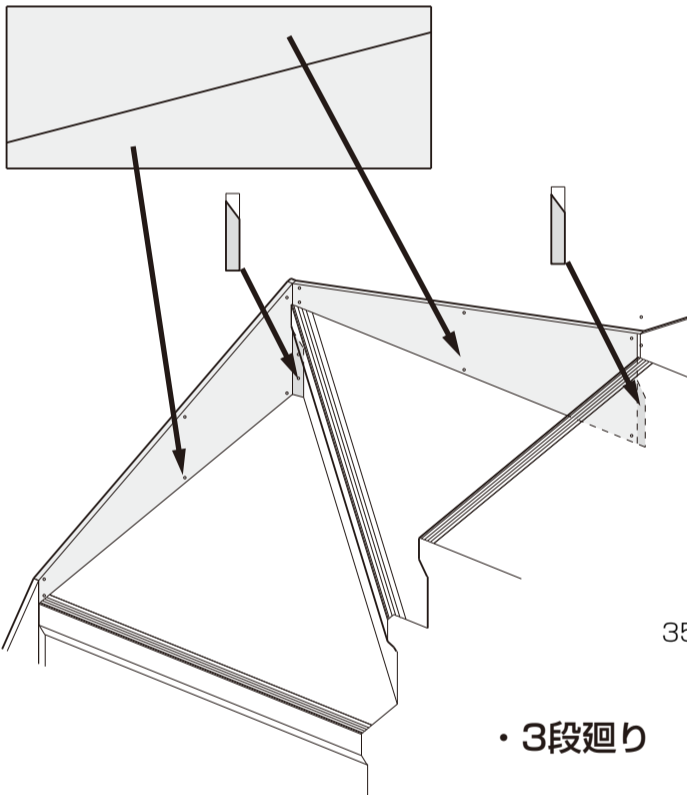
- ・側板面材を既存側板の1段目と、上段框上部に合わせてカットします。



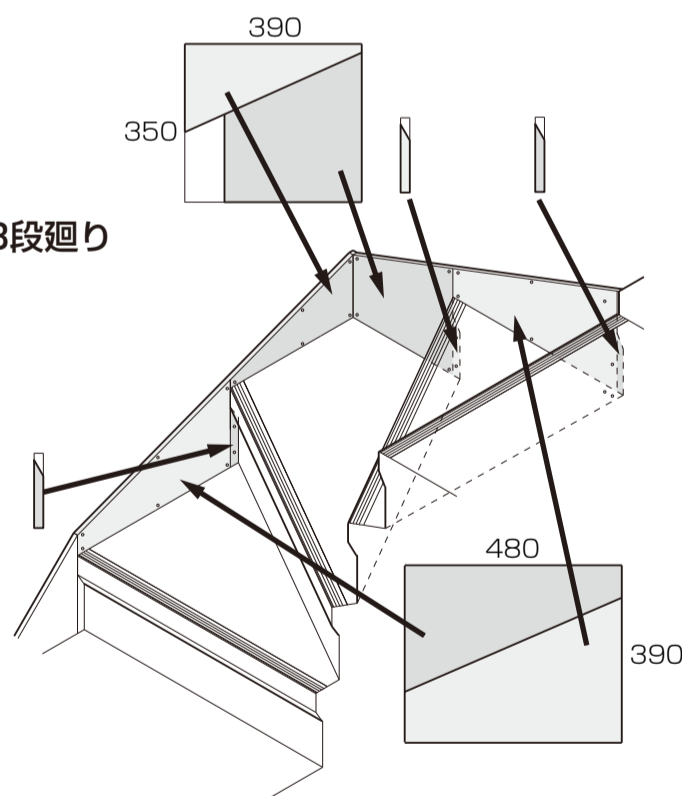
●廻り側板の場合

- ・廻り側板面材を、既存廻り側板に合わせてカットします。

・2段廻り



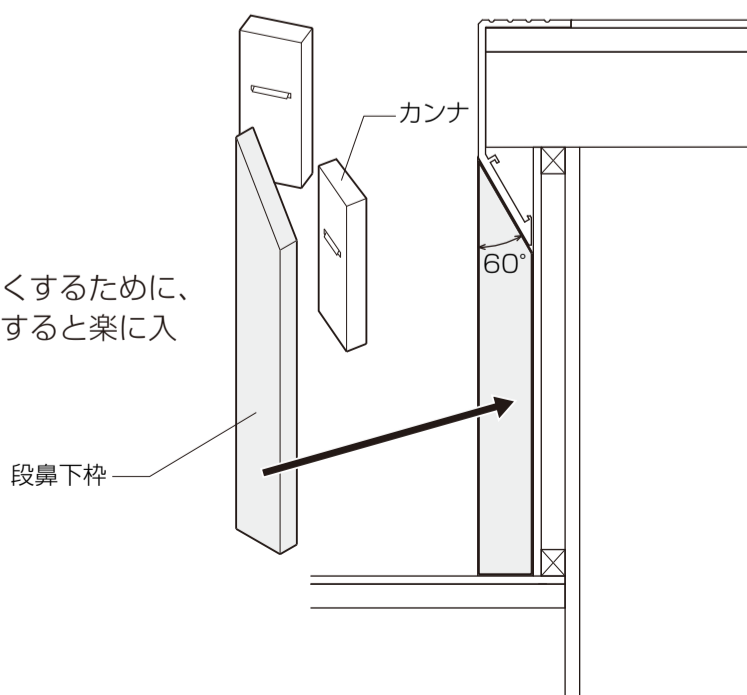
・3段廻り



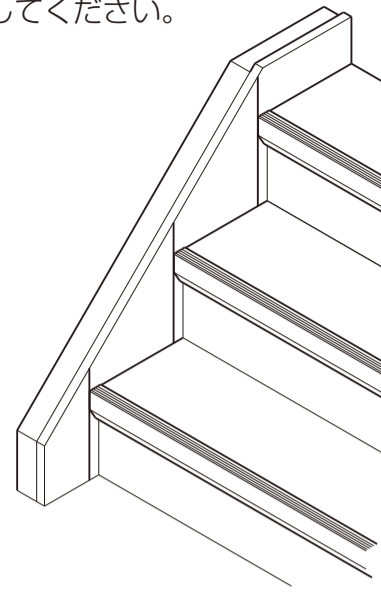
①指定の接着剤(裏面全面塗布)をつけて、かくし釘(36mm：現場手配)を端部を基準に200mmピッチで固定してください。

②段鼻下枠については、カンナで形状をととのえて、入れてください。

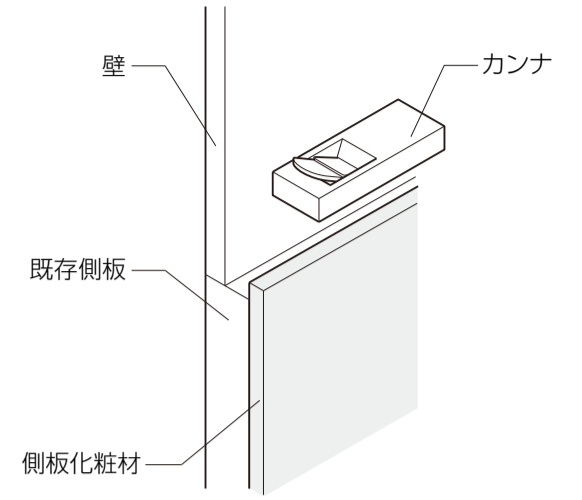
・入りやすくするために、面取りをすると楽に入ります。



③既存側板と側板面材の見つけ面処理をしてください。

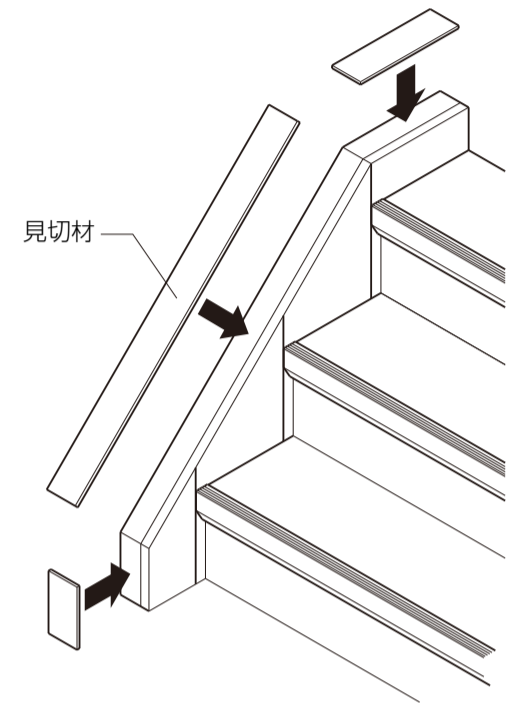


・既存側板と側板化粧材との段差をカンナで削り、平滑にしてください。



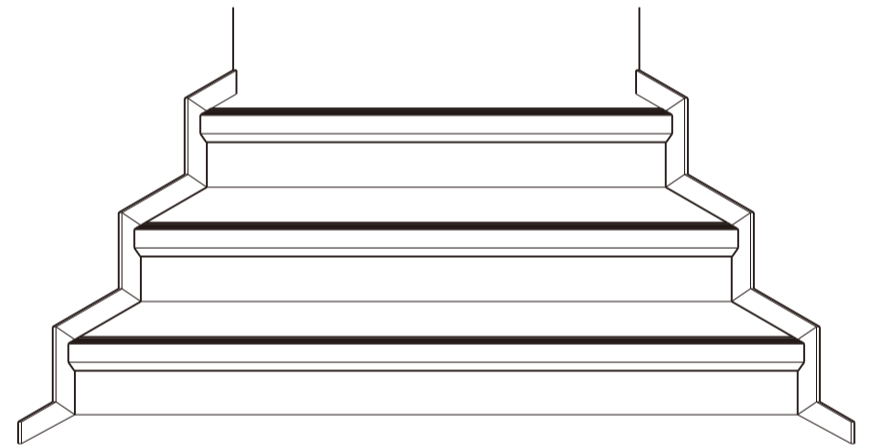
④側板見切材の取付け

- ・既存側板と側板面材の見付面に、見切材同梱の接着剤をつけます。
- ・見切材にも接着剤をつけます。このとき、幅が38mmあるので、見付寸法を測って1mm程度大きめに切断されると、作業がしやすくなります。
- ・かくし釘(36mm：現場手配)にて見切材を固定します。
- ・はみ出した部分をカンナなどで面取りしてください。



5 端部の納め方

- ①側板納めで重ね張りした段鼻材、段鼻下材、側板面材に、すき間ができないように納める場合は、充てん材は不要です。わずかなすき間は、充てん材でうめてください。
- ②側板がない場合は、造作材幅木を使って階段形状に留め加工し、専用接着剤・かくし釘などで固定してください。



6 補修

- ①踏板面材、蹴込み板、段鼻材、側板面材、見切材にかくし釘を打ちましたが、施工完了後は接着剤の硬化(夏期：3時間以上、冬期：24時間以上)をまって、かくし釘の頭をとばし、その穴をパッチャルペンシルで補修してください。

7 階段裏を使用している場合

- ・かくし釘、ねじ先端が出ていないように、処理してください。

▲ 注意

- かくし釘、ねじの先端は必ずかくしてください。とび出した部分に引っ掛かり、ケガの原因になります。

8 点検

- ①引き渡し前に必ず工事管理者が安全点検を行ない、不良箇所があれば、必ず補修してください。
- ・段差 ・接着不良 ・かくし釘のとび出しなど

●お願い

- 接着剤が完全硬化するのに夏期で3時間以上、冬期で24時間以上かかりますので、施工当日は衝撃をあたえないように昇降してください。